

第1回日本生殖発生毒性フォーラム案内(3)

初夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第1回日本生殖発生毒性フォーラム(生殖発生毒性学合同研究集会(仮称)から正式に決定)を下記の要領で開催することになりましたので、ご案内申し上げます。本フォーラムは、生殖発生毒性学研究のますますの発展のために、より多くの関係者が集まる機会として、生殖・発生毒性学東京セミナーと関西生殖発生毒性フォーラムとで共催するものです。特に、生殖発生毒性の研究者を対象とした勉強会として、若手研究者が生殖発生毒性評価に関わる様々な知識を習得し、また、基礎的あるいは応用技術の情報を収集すること、さらには研究者同士が親睦を深めることを目的としております。本年7月26日より開催される第59回日本先天異常学会学術集会の前日に開催致しますので、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

記

名称： 第1回日本生殖発生毒性フォーラム

日時： 2019年7月25日(木)10時30分～17時(受付：10時～)

会場： 愛知学院大学 楠元キャンパス 1号館 法人本部 法人会議室
名古屋市千種区楠元町1-100
地下鉄本山駅1番出口から徒歩約10分
(先天異常学会の会場とは異なりますのでご注意ください)

URL: <http://gikou.agu.ac.jp/campus-life/campus-map/index.html>

会費： 2,000円(当日集金※)

※ 領収書も当日発行させていただきます。

参加申し込み： 以下の参加申し込みフォームをコピー&ペーストして記入したものを、メールで送ってください。

参加申し込みフォーム

第1回日本生殖発生毒性フォーラムに参加します。

氏名：○○○○(○を削除して記載してください)

所属：○○○○(○を削除して記載してください)

講演会：○×(○参加か×不参加のどちらかを削除してください)

懇親会：○×(○参加か×不参加のどちらかを削除してください)

要旨集：○×(受付メールに要旨集の添付を○希望する×希望しないのどちらかを削除してください)

メール宛先：usami@nihs.go.jp

複数人分を同時に申し込む場合は、人数分をコピー&ペーストしてください。2日以内に受付完了の返信メールが届かない場合は、メール宛先にお問い合わせください。申し込み期間は7月1日～10日とさせていただきます。当日参加も可能です。討論会での参加については、希望する場合に、形式自由で記述してください。メール内の宛先は無しでOKです。

※ フォーラム・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください。

プログラム

1. 生殖発生毒性討論会 (10:40-12:00)

(1) 基調講演：「医薬品生殖発生毒性試験ガイドライン改定の現状」

真木 一茂 先生 (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

(2) フロア参加型討論会

生殖発生毒性の試験、研究および育成等に関して、日頃抱えている問題や悩み事などについて、参加者全員で考えましょう。事前に、パネラーとしての参加希望ならびに生殖発生毒性に関する質問や意見などを受け付けます。参加申し込みの際に合わせてご連絡ください。

2. 教育講演 (1) (13:00-14:00)

「生殖内分泌の基礎について」

大蔵 聡 先生 (名古屋大学大学院 生命農学研究科)

3. 教育講演 (2) (14:15-15:15)

「前臨床試験としての生殖発生毒性試験の重要性とヒトへの外挿」

塩田 浩平 先生 (国立大学法人滋賀医科大学)

4. 話題提供 (15:30-17:00)

(1) 「ラット生殖発生毒性試験における過剰肋骨の発現機序および毒性学的意義について考える」

桑形 麻樹子 先生 (国立医薬品食品衛生研究所 毒性部)

(2) 「マイクロサンプリング頻回採血のラット胚・胎児試験への適用に向けた各施設の取り組み」

片桐龍一 (中外製薬)、宇部雅進 (田辺三菱製薬)、山内俊明 (武田薬品)

5. 懇親会 (17:00 以降) 会場は未定、費用は 4000~5000 円程度を予定しています

以上



名古屋駅から地下鉄東山線（藤が丘行き）で本山駅下車、1番出口から徒歩約10分